

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース



CONTENTS

- 巻頭言 広報部の活動について 1
- 地区だより(東三河地区) 2
- [New Yearパーティ2025] 開催報告 3
- スキルアップ研修会参加の感想 4
- フレッシュセミナー2025募集案内 5
- メールアドレス登録のお願い ... 5
- 愛臨技HP求人情報掲載について 5
- 加藤克幸副技師長を偲んで 6
- 令和6年度 第2回 西三河がんフォーラム ... 6
- 研究会 7
- 会員執筆物の紹介原稿募集 ... 7

2025年2月1日現在 正会員数 3,900名

広報部活動について

広報部 部長 大野 善史

愛知臨床検査技師会の広報部の活動は、会報らぼ(らぼニュース)の発行とホームページによる情報発信を主におこなっています。らぼニュースは紙媒体を廃止し、Web版のみの発行となり2年を経過しました。ホームページにもらぼニュースの内容は掲載をしていますが、冊子としての見やすさや扱いやすさがありますので継続して発行をしていきたいと考えています。また、らぼニュースには『地区だより』による施設紹介や様々なイベントに参加した方からの記事も掲載させていただき親しみやすい内容で会報を発行したいと考えています。一方でホームページは会員のほか、他の都道府県の技師の方々、他の職種の方々、医療学生の方々、一般の方々が見にこられることもあり、当会としての品位があり、みやすく活動の情報が伝わるものになるように心がけています。月初めに当会よりメールでらぼニュース発行の案内をさせていただいていますので、メールよりホームページにアクセスしていただき、らぼニュースとホームページによるお知らせや研究会、講習会の情報収集などに利用していただきたいと思います。

広報部の活動として他に、研究会や研修会の配信作業もおこなっています。コロナ禍により現地での開催が困難であった時期にライブ配信やオンデマンド配信が研究会の主流となりました。コロナ禍が過ぎ、研究会も多くは現地開催に戻ってきていますが、オンデマンド配信の良いところもあり研究会によってはオンデマンド配信やライブ配信をする機会はまだあります。広報部では、このサポート作業もさせていただいています。

愛知臨床検査技師会のホームページには月に約4,500の方が訪問され、15,000前後のアクセス数があります。当会の活動、研究班や地区の活動は全国的にみても活発でレベルの高い活動をしていると思います。その後押しを広報部もしていければと考えています。



豊川市民病院は1946年開院以来、2013年5月に八幡地区への移転を経て現在に至ります。「信頼される医療を通じて、地域住民の健康づくりに貢献する」を基本理念とし、地域の急性期中核病院として救急医療の充実と高度・専門医療を推進するとともに、地域医療機関や保健・福祉機関との連携を深め、地域医療の向上を目指しています。

病床数は501床(一般428床、精神65床、結核8床)を有しています。精神科の病床数を多く備えているのが特徴で、人権に配慮した適切な精神科医療を実践しています。また2019年12月に救命救急センターの指定を受け、患者さんに対して、診察や小手術を含めた緊急処置を行うことのできる環境を整えています。がん治療においては2022年4月に「愛知県がん診療拠点病院」として指定され、東三河地域におけるがん診療の拠点病院としてさらなる診療レベルの充実を目指しています。

救命救急センターの指定を受けた2019年同月には、災害時における医療救護活動の拠点病院として地域中核災害拠点病院にも指定されました。大規模災害の発生時は職員、病院施設、設備、ライフライン等が被災した状況下であっても診療体制を維持し、多数の傷病者を受け入れる必要があります。当院では優先すべき業務をタイムラインに乗せて確実に実施するため、2018年3月に業務継続計画(BCP)を策定しました。またこれを補完する位置づけで別冊の災害医療マニュアルを策定し、以降、状況の変化に応じて適宜見直しを行い、被災状況を想定した実践的な訓練および研修を実施することで災害に強い病院づくりと職員の意識向上に努めています。

救命救急センターの指定を受けた2019年同月には、災害時における医療救護活動の拠点病院として地域中核災害拠点病院にも指定されました。大規模災害の発生時は職員、病院施設、設備、ライフライン等が被災した状況下であっても診療体制を維持し、多数の傷病者を受け入れる必要があります。当院では優先すべき業務をタイムラインに乗せて確実に実施するため、2018年3月に業務継続計画(BCP)を策定しました。またこれを補完する位置づけで別冊の災害医療マニュアルを策定し、以降、状況の変化に応じて適宜見直しを行い、被災状況を想定した実践的な訓練および研修を実施することで災害に強い病院づくりと職員の意識向上に努めています。

ここで豊川市についてご紹介します。豊川市といえば豊川稲荷や砥鹿神社などが有名ですが、ここでは赤塚山公園について取り上げたいと思います。赤塚山公



園は1993年7月に豊川市制50周年を記念して建設された総合公園です。山桃の自生で知られる赤塚山に位置し、面積は25.1ヘクタール(バンテリンドーム約5個分)です。2023年4月にリニューアルし、さらに魅力あふれる公園となりました。園内には地元豊川(とよがわ)の魚や生物などに特化した珍しい淡水魚水族館「ぎょぎょランド」、ポニーやウサギなどの小動物とふれあえる動物広場「アニアニまある」、思い切り水遊びができる「水の広場」などがあります。他にも大型遊具のある広場や梅園・花しょうぶ園といった散策スポットがあり、子どもから大人まで楽しむことができる施設となっています。豊川市にお越しの際はぜひお立ち寄りください。



「New Year Party2025」 開催報告

1月17日(金)、名駅から徒歩3分にある『伊太利食房 ZenZero 名駅店』にて、会員67名、賛助68名の総勢135名が集い、新年の始まりを楽しく祝うことができました。料理は、オードブル、ピザ、パスタ、ケーキと個人的には満足できるメニューでした。あのエクストラコールドも注文できました。久々に会った人たちとの話が花が咲くなか、やはり、最大の目的は料理でも、お酒でもないです…よね。いい？ わかってる？ 聞かないと損するよ！今年も豪華賞品が勢ぞろい！くじ引き大会のスタート。夢の国ペアチケット、有名百貨店取り扱いのハンドソープ、お米などなど。おっと、ここまで読んでくれているあなた！米かぁ？なんて思っていないよね？いい？ わかってる？米の値段、去年より1,500円もあがってるんだよね！私の名調子？の司会を、楽しみに来てくださる方もいて、びっくりしました(笑)。その司会 信じるか信じないかは あなた次第！（組織部 伊藤 友一(岡崎市民病院)）

参加者の声

会長賞「東京ディズニーランド ペアチケット」受賞！

アーレイマーケティング株式会社 永澤 卓磨

この度、貴技師会「New Yearパーティー2025」会長賞を頂戴し、誠に有難うございます。私は昨年12月に鹿児島から愛知に転勤で参りました。今まで他地区・技師会様懇親会にも参加しましたが、参加者様が多く大変盛況な会という印象を受けました。普段、固唾を飲んで抽選会を見守る私ですが、初参加という

こともあり「参加者様全員が、楽しまれているこの場所と時間に同席出来て光栄だな」という思いで、ただ笑顔でご機嫌に過ごしておりました。その様な中、私の名前が呼ばれた時は驚きと喜びが交錯しました。賞品はまさかの「東京ディズニーランド ペアチケット」！本当に有難うございます！

今年も益々、貴技師会様のご発展を祈念申し上げます。

愛臨技 New Yearパーティー参加記 ～本音と笑顔があふれる夜～

藤田医科大学病院 長嶋 和子

New Yearパーティーって「偉い人が集まる会」ってイメージかもしれませんが、実は意外と若い人や一人参加の人も多いです。

肩肘張らずに楽しめる雰囲気、まずは顔見知りと軽く一杯。そこから話が広がり、様々な施設の方と知り合うことができました。情報交換なんて学会会場でもできるし、技師会ホームページで研究班に質問だってできます。でも、New Yearパーティーでの情報交換は、ちょっと違うんです。お酒

も入って、いい感じにリラックスした雰囲気の中での情報交換は、普段とは一味違うぶっちゃけ話や本音トークが飛び交うんです。普段はなかなか聞けないような話も、ここでは気軽に聞けちゃいます。

それに、普段はビシッとスーツ姿の業者さんたちの、ちょっと砕けた一面を見られるのも、New Yearパーティーならではの楽しみ。

美味しい料理とお酒を堪能し、お喋りもひとしきり楽しんだ後は、お待ちかねの豪華景品プレゼントタイム！愛臨技の名物司会者さんが、ノリノリで会場を盛り上げます。そして私、ここで超豪華なプレゼントをGetしちゃいました！このご時世にお米10kgです！



目録を受け取り、自分の席に戻るまでの間はまるで相撲の花道。色々な病院の方から祝福の言葉とハイタッチ！気分も最高潮！

来年もまた、New Yearパーティーで皆様と再会できるのを楽しみにしています。



スキルアップ研修会参加の感想

JA 愛知厚生連 安城更生病院 谷澤 弘規

このたび、救急医療に関連する研修会に参加させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。本研修では、救急処置室から届く検体や患者情報をもとに症例を紹介し、そこから患者の状態を想像して臨床へ繋げるための思考プロセスを学ぶことができました。特に、現場での判断力や柔軟な対応力の重要性を改めて実感しました。

特別講演では、救命医療現場の医師からハイブリッド ER の効果や実績についてお話を伺いました。医療の進歩や新しいシステムの導入によって、救命率が向上し、患者さんの生活の質を保つことができるという具体的な事例には、大きな感銘を受けました。限られた時間と状況の中で、いかに効率的に対応するかという現場の工夫や取り組みは、今後の医療現場での自身の役割を考える上でも非常に参考になりました。

また、実技講習では、看護師の指導のもと AED の使用方法や心臓マッサージの手技を体験しました。初めはシミュレーションとはいえ、緊張感のある訓練になるかと思っていましたが、可愛い犬が救助方法を教える動画を見たり、講師のユーモアあふれる雑談があったりと和やかな雰囲気の中で楽しく学ぶことができました。しかし、講習を通じて基本の徹底がいかに重要かを痛感しました。これらのスキルは、医療従事者としてだけでなく一般人としても必要な知識であり、自分の中で改めて復習する必要があると感じました。

今回の研修を通じて、救命医療の現場で求められる知識や技術の奥深さを学ぶと同時に、自分自身の成長がまだまだ必要であることを再認識しました。今後はこの学びを現場での業務に活かし、少しでも患者さんと周囲のスタッフの役に立てるよう努めてまいります。



フレッシュセミナー 2025

春一番の恒例行事「フレッシュセミナー」、今年も開催致します。日臨技ならびに愛臨技の技師会活動の紹介と、今回も研究班班員の先輩技師から班活動の紹介だけでなく、担当分野における検査のやりがい、魅力、苦勞していること、新人さんへのアドバイスなどをお話しいたします。

また、フリートークでは新人さんからの質問に気兼ねなくお答えします。本セミナーは会員・非会員問わず、この春に入職されます新人さんが対象となっておりますので、是非、お声かけをお願いいたします。

【基礎教科：20点】

日時：4月20日(日) 9:30~11:30(9:10より受付開始)

場所：ウインクあいち 902会議室(9階)

会費：無料

対象：新入職者100名(定員になり次第締め切り)

内容：①臨床検査技師会の紹介(日臨技・愛臨技)

愛知県臨床検査技師会 会長 藤田 孝(中部大学)

副会長 刑部 恵介(藤田医科大学)

日本臨床検査技師連盟の紹介

愛知県支部 支部長 小木曾美紀

②研究班活動紹介

生物化学分析検査研究班 森部 龍一(愛知医科大学病院)

遺伝子・染色体検査研究班 河井 麻友(西尾市民病院)

③フリートーク

司会：愛知県臨床検査技師会 組織部 和出 弘章(トヨタ記念病院)

南里 隆憲(名古屋市立大学病院)

申し込み：日臨技会員未登録及び申請中の方も参加可能です。

①氏名、②施設名(所属なければ空欄)、③会員番号(非会員は空欄)、

④連絡先(メールアドレス)、⑤質問(聞いてみたいこと)を

下記の「申込・問い合わせ先」アドレスまでお送り下さい。

締め切り：4月14日(月) (定員になり次第締め切り)

申込・問い合わせ先：aamt.soshiki@gmail.com

愛知県臨床検査技師会 組織部 和出 弘章(トヨタ記念病院)

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らばニュース』Web版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技HPに臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技HP会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技HPにてご確認ください。

加藤克幸副技師長を偲んで

加藤さん、今ゆっくり大好きな煙草 (-。-)y-°° を嗜んでいますか？

加藤さんから「急性骨髄性白血病」で入院になったと連絡を受けたのが2023年の年末でした。その報告を受けて私達は居ても立っても居られず、翌日、病理検査室に集まり不安な気持ちを少しでも拭えないか色々な話し合いをしました。しかし、話し合っても答えは見つからず不安な気持ちのまま新年を迎え、一年が始まりました。入院して最初の頃は、化学療法が効かず三月の「桜」を見るのは難しいかもと言われていましたが、奇跡的な回復を見せ八月には退院する事ができました。しかし、退院して直ぐに再発。さすがに復職の話も出始めていたタイミングでの再発は加藤さんも病理検査の技師にも重くのしかかった辛い辛い現実でした。

それでも治療の合間に体調が良いと病理検査室に顔を出してくれて、ご自身の病気の事や病理検査室の現状の事など他愛もない話を沢山話すことができました。

今年の一月に退院し自宅療養中、容態が急変し帰らぬ人となり、もう二度と一緒に仕事が出来ないかと思うと本当に残念でなりません。まだまだ細胞診の事について教えてほしかったのに…加藤さん、早すぎますよ…

去年の三月「桜」を見に行かなかった事を後悔し、今年の三月「桜」を見るために治療を頑張っていた加藤さん。三月、鶴舞公園の「桜」を一緒に見に行きましょうね。

2025年2月4日

名古屋大学医学部附属病院 医療技術部 臨床検査部門 病理検査室 主任臨床検査技師 小林 晴美

愛知県臨床検査技師会 生涯教育認定登録団体研究会のご案内 令和6年度 第2回 西三河がんフォーラム

基礎教科：20点

日時：3月5日(水) 18:00～19:00

場所：安城更生病院 2階 第1講堂

テーマ：持続可能な AYA 支援を考える -AYA 支援ネットワークへの期待

講師：国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科診療科長 清水千佳子 先生

司会：安城更生病院 腫瘍内科 腫瘍内科代表部長兼通院治療センター長 稲垣裕一郎

参加費：無料

内容： 当院は地域がん診療連携拠点病院として、がん治療の三大療法である手術療法、放射線治療、化学療法に力を入れています。

今回の西三河がんフォーラムは、国立国際医療研究センター病院の清水先生に講演していただき、西三河地区のがん診療に従事する医療者と共に AYA 世代支援について学びます。

研究会

生物化学分析検査研究班

専門教科：20点

日時：4月5日(土) 15:00~17:00(受付14:30~)

参加方法：日臨技 HP から事前登録
3月1日(土)~30日(日)

定員：60名

参加費用：なし

開催方法：現地開催

場所：リップススクエア
アーバンネット名古屋ビル20F

テーマ：感染症項目について学ぶ

講師：

- 「身につけよう、肝炎ウイルスの正しい知識」
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
神宮司帆乃香
- 「性感染症について」
春日井市民病院 伊藤 彰吾

司会：名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院
清水 和樹
JA 愛知厚生連 海南病院 西野 悠紀

内容：本研究会では、「感染症項目について学ぶ」をテーマに、測定項目の解釈の仕方など、新人の方や生化学や免疫検査に携わっていない方にもわかりやすく解説します。事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、事前参加登録を推奨しております。定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：4月5日(土) 14:00~17:00

参加方法：日臨技 HP から事前登録
3月6日(木)~4月5日(土)

定員：120名

参加費用：なし

開催方法：現地開催

場所：JA あいちビル 14階 大会議室

テーマ：『何か変』に気づくための感度を高める

講師：

- 「まずは正しいを知る。微生物検査技師の基本のキ」
八千代病院 山口杏理沙
- 「『何か変』を見逃さない精度管理とは？」
藤田医科大学病院 松井建二郎
- 「ケーススタディから学ぶ！
『何か変』に気づくための実践的アプローチ」
医療法人豊田会刈谷豊田総合病院 木元 真帆
- 「問題解決能力を高める思考法とテクニックを学ぶ」
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 原 祐樹

司会：小牧市民病院 西尾美津留

内容：2025年度は「キャリア段階で考える、微生物検査技師として必要なスキルとは？」をテーマに研究会を開催します。今回は日常検査の中で『何か変』に気づく能力を高めるための、4段階のレベル別講義を行います。よりよい微生物検査実施のために日常検査を見直すきっかけになれば幸いです。日々の疑問や自施設の困りごとなど共有し、ディスカッションしましょう。

開催当日まで事前参加登録可能ですが、定員に達した次第締め切りとなります。また事前参加登録なしでの当日参加も認めますが、定員に達した場合は事前参加登録者優先のため、参加をお断りする場合があります。資料配布の関係上、可能な限り早目の事前登録にご協力ください。

会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らばニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP